

# 武蔵野を緑の大地に

～久米川文化村問題に想う～

木野義人

「青葉の頃其林中に入りて見よ 葉々日を帯び  
て緑玉碧玉頭上蓋を纏れば 吾面も青く 若  
し 仮睡せば夢亦緑ならむ」

蘆花や独歩ならずとも 当時の人々は武蔵野をこよなく愛し 多摩川の清流を慕い あるいは狭山丘陵の山すそに湧き出る清冽な泉を求めて住みつき 緑に包まれた自然の中に溶けこんで生活していた。それほど昔にさかのぼらずとも 泉の湧き出る境内や水車小屋のある恋ヶ窪などの風景は 昭和初期の文学の中にもふんだんにとり入れられている。それが現代ではどうであろうか。乾季に一たん強風が吹けば さながら黄砂に見舞われた大陸の荒野のごとき光景を現出し 反対に 100 mm を超えるような集中豪雨に襲われれば ローム台地面は泥濘と化し 台地面を刻む開析谷の中は逃げ場を失った水が溢れて局地的な洪水現象をひき起こし そのつど新聞の社会面をにぎわしている。

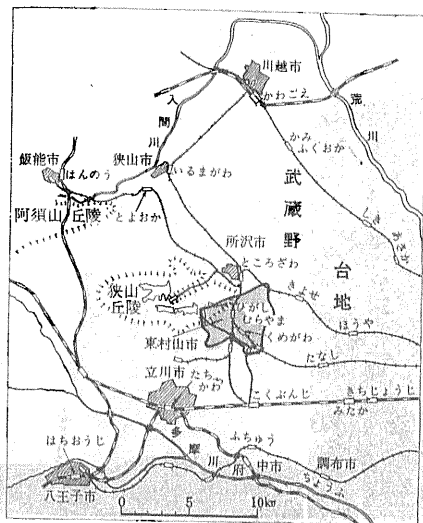
一方地下水はどうであろうか 水位は年々低下し 包蔵地下水量それ自体の枯渇現象さえ生じ さらに悪いことに水質の悪化も目につくようになってきた。とくに表層近くの礫層中の自由地下水中には 明らかに地表からの汚物の侵入結果と見られる成分（アンモニア・クロール・硫酸など）の増加が著しく それに伴って有害菌

も礫層中に侵入していると判断されるのである。

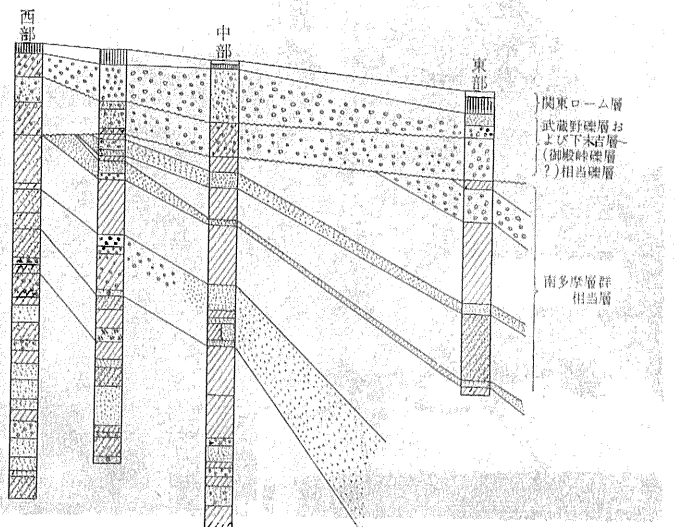
武蔵野台地は周知のとおり最上部に関東ロームと呼ばれる赤土層があり これが自然の状態では地表の水をよく渗透させる能力を持っている。 その下には厚さ10～50mの これまた水をよく通す礫層があり 自由地下水はおもにこの礫層中に貯えられている。 さらにこの礫層の下には不整合に南多摩層群ないし成田層群に相当する これまたよく水を通す帯水層を多数はさむ地層群が厚くなっている。 したがって地表の汚水は 雨や表流水といっしょに簡単にローム層から上部の礫層に浸入し 長年月の間には不整合面から下の深い帯水層へも渗透し得ることが容易に推定されるのである。

第2図は武蔵野台地における水理地質的構造を そのほぼ中央部に位置する東村山市付近をモデルとして模式的に示したもので 上述のとおり地下水や汚水が礫層や砂層を通じて 時間の経過とともに次第に深く広くしみわたって行くことが可能であることが了解されよう。このことは武蔵野台地全般に共通しており いたるところで汚水にむしばまれる可能性を有している。 また武蔵野台地のある一地点で発生する地下水汚染現象はやがてその下流部一帯に広く波及することがあり得ることを 為政者も識者も住民も深く銘記すべきであろう(第3図)。

黄じん吹きすさぶ荒野も泥ねいも いわゆる山ノ手洪



第1図 武蔵野台地概要図



第2図 武蔵野台地における水理地質構造の1例(東村山市付近の場合)

水も また地下水の涸渇や毒化も 原因を求めればそれぞれ複雑な因果関係や社会的事情がある。しかし端的に言えば 自然環境の無計画な破壊—なかなづく緑のそう失に帰するとしても過言ではないであろう。緑のそう失はとりもおさず秩序のない土地利用（都市計画や各種開発を含めて）や 自然を無視する人工技術万能主義（実は人間性それ自身のそう失につながるのであるが）を意味する。

污水や廃水のゆくえを考えない開発は 汚物を土壌や地下水の中にまき散らす結果をもたらし 草木を失いブルドーザーでふみかためられたローム層は もはや清浄な雨水を地下に滲透させず したがって地下水の補給源を断つこととなり 滲透する場所を失った水は排水とともに開析谷に集中して山ノ手洪水を起こさす。また地肌のあらわれたローム層は 強風にはく脱されて黄じんとなって飛散する。そしてその上に築かれた都市や施設は一見文化風にみえても その根拠である大地自体

の荒廃 毒化によって いわば砂上のろう閣と化する危険性をはらむのである。

武蔵野の都市化を否定し あるいは原始状態の放置のみを強調するのではない。自然を変革するに際してはあらかじめじゅうぶん自然の反応をみきわめた上で それに対処し得るだけのおぜんだが必要であることを理解されたいのである。広い意味のいわゆる公害や災害の大部分が緑なき荒廃地や都市に発生していることはあながち偶然ではない。自然を保護し さらに積極的にこれを育成すべく たとえば「自然保護法」のごときものによって緑を回復し それを通じて国土の改造 開発が緻密な計画を持ち 真の意味の文化的生活（いわゆる物質文明でなく 豊かな精神と謙虚な自然科学にささえられた文化）が保障されることを期待するものである。将来の大都市周辺を廃市に導くか否かは 実に「緑の夢」が実現されるか否かにかかっている。

（筆者は応用地質部）

第3図  
推定される  
地下水汚染  
の経過

